

報道機関各位

都市公園の魅力向上に向けた マーケットサウンディングを実施します！

北九州市では、市民の憩いの場、賑わいの場として、1,700を超える都市公園が整備され、多くの市民に親しまれています。都市公園を取り巻く社会状況が変化中、公園施設を適切に整備・管理し、都市公園の魅力向上を図る必要があると考えています。

市の財政負担を軽減しつつ、都市公園の質の向上、公園利用者の利便の向上を図ることを期待し、公募設置管理制度(Park-PFI)や指定管理者制度など公民連携による取組みを推進しており、今後も公民連携の可能性を検討していきたいと考えています。

そこで、今回、公民連携による事業の可能性を探ることを目的として、民間事業者の幅広いアイデアを募集する「マーケットサウンディング調査」を実施します。提案いただいたアイデアについて直接対話を行い、事業化の可能性のある公園や事業参入に関する条件などについて意見を聴取し、事業実施を検討していきたいと考えています。

記

1 募集内容

公募設置管理制度(Park-PFI)*¹等を活用した公園の魅力向上に関する提案
(※Park-PFIに限らず、設置管理許可制度*²や指定管理者制度*³などの
公民連携制度を活用し、本市の都市公園の魅力向上に資する事業
について、広くアイデア提案を募集します。)

2 対象公園

本市が所管する全ての都市公園(1,719公園)

3 スケジュール

参加申込の受付 : 令和6年8月9日(金) ~ 10月11日(金)
提案書の受付 : 令和6年8月9日(金) ~ 11月29日(金)
提案者との個別対話 : 令和6年8月9日(金) ~ 11月29日(金)
調査結果概要の公表 : 令和6年12月下旬(予定)

【問い合わせ先】

都市戦略局緑政課 TEL:093-582-2466 担当 高尾(課長)、岸川(係長)

公民連携制度について

***1 公募設置管理制度(Park-PFI)**

公募設置管理制度(Park-PFI)とは民間の優良な投資を誘導し、公園管理者の財政負担を軽減しつつ、都市公園の質の向上、公園利用者の利便の向上を図る整備・管理手法です。

Park-PFI ではカフェなどの収益施設を設置し、この施設から生ずる収益を活用して、その周辺の広場などの公園施設の整備・改修等に還元することになります。

・北九州市事例:勝山公園(コメダ珈琲店)、到津の森公園(スターバックスコーヒー)

***2 設置管理許可制度**

設置管理許可制度とは、公園管理者以外の者に対し、10年間を限度として、公園施設を設置し、その管理について許可できる制度です。設置管理許可を受け、公園に設置されている施設は、自動販売機や売店、飲食施設等の便益施設の他、教養施設や運動施設等があります。

・北九州市事例:響灘緑地(HIBIKINADA キャンプベース)等

***3 指定管理者制度**

指定管理者制度とは、地方公共団体が指定する者(指定管理者)に公の施設の管理を行わせる制度です。民間事業者や NPO などの人的資源やノウハウを活用し、市民サービスの向上や施設の管理運営の効率化を図ることを目的に、管理運営の権限を許可するものです。

・北九州市事例:市内 9 公園(白野江植物園、山田緑地等)

実施要領等については本市 HP に公開しております。

URL:https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/059_00002.html